

事業概要

自 2017年 4月 1日
至 2018年 3月31日

一般財団法人 尾崎行雄記念財団

1) 月刊『世界と議会』の刊行(No.576～578)

- ・2017年春号(特集:地方政治と人間学)…4月20日発行
- ・2017年夏号(特集:世界の中の日本)…8月20日発行
- ・2017年秋冬合併号(特集①尾崎行雄「日米友好の証」桜とハナミズキ)／
特集②世界情勢と日本の安全保障)…10月20日発行

■計3000冊を発行。国会・地方議会議員、自治体、国会図書館・公立図書館、公共施設等へ配布。

■春号には、元内閣府副大臣・長峯基氏による講演や、超党派の地方議会議員による寄稿を掲載。夏号には、駐日モンゴル国大使ゾブジャムツ・フレルバートル氏による講演、秋冬号にはNPO法人号堂香風理事長インタビューやシンポジウム講演録などを掲載。

2) 「号堂塾」の開催

助成:(公財)原田積善会 協賛:(株)ニフコ

基本プログラム:2017年5月～18年2月まで計16回講義終了(18名卒塾)

主な講師陣:神保哲生(ビデオジャーナリスト)、池田信夫(エコノミスト)、飯田哲也(ISEP所長)、伊勢崎賢治(東京外大教授)、北川政恭(早大院教授)、樋口恵子(高齢社会をよくする女性の会理事長)、井沢満(脚本家)、小川和久氏(静岡県立大学特任教授)など。

■昨年度同様オンライン講座を実施(PCでの講義視聴が可能)。特に、被災3県(宮城・岩手・福島)では、東北復興支援活動の一環として無料で公開。

■特別公開講座では、塾生以外に約20名が参加。号堂塾のPRにも寄与。

3) 講演会／政経懇話会／出張講演

隔月で開催している講演会(他団体共催)では、5月に西修・駒沢大名誉教授「憲法と緊急事態条項」、7月に小川和久・静岡県立大特任教授「日本政府には国民を守れない」、9月に河本志朗・日大危機管理学部教授「911以後の世界」、11月に柳井俊二・国際海洋法裁判所判事・元駐米大使「対テロ戦争の時代」、1月に吉川圭一・グローバルイシューズ総合研究所所長、3月に井上幸彦・元警視總監。

また、政経懇話会では、テレビプロデューサーの結城豊弘氏の講演「日本政治の課題・テレビの深層」を開催。

その他、「尾崎行雄・民主主義・選挙」をテーマにした出張講演8回(埼玉、東京、神奈川、三重)を実施。

4) 記念シンポジウム(協賛:大橋物産株式会社／ミクニ総業株式会社)

7月、「激動する世界情勢と日本の未来」をテーマにシンポジウムを開催。講師は小川和久・静岡県立大特任教授、伊勢崎賢治・東京外大院教授、伊藤祐靖・元海上自衛官、コーディネーターは桜林美佐・防衛問題研究家。

■当日は約100名が参加。日本の安全保障と国際協力のあり方について講師陣による白熱した議論が行われた。(講演内容は『世界と議会』秋冬号に掲載)

5) 記念の集い(協賛:大橋物産株式会社／ミクニ総業株式会社)

10月、「尾崎行雄・桜とハナミズキの集い」を開催。伊勢のNPO法人号堂香風理事長の土井孝子氏による講演「号堂香風の歩み—国際交流と世界平和に向けて」、東京都立園芸高校同窓会長の宗村秀夫氏による講演「友好の絆—桜とハナミズキ」を実施。

- 当日は米国から2016年の全米桜の女王レイチェル・ボーン氏、全米州議会協会役員のアキコ・キーン氏、伊勢の第七代花みずきの女王・伊藤小百合など、約100名が参加。

【被災地支援】

上記(4)(5)（「記念シンポジウム」、「記念の集い」）へのご寄付と参加費、また各種活動の収益の一部を関連NPOを通じて被災地支援（物資・文具等の寄贈／植樹活動）に充当。

6) ホームページによる広報活動の強化

2013年よりIT専門の部署を設け、専門家による効果的なホームページ運営を実施。さらに、フェイスブック等のSNSを通じて積極的に情報を発信。現在も全国から多数のアクセス（閲覧）があり、当財団イベントをはじめ、尾崎行雄や相馬雪香の関連情報を多くの方々にご覧頂いている。

7) 資料の収集／衆議院憲政記念館に対する協力／他団体との連携・協力

尾崎行雄関連資料の収集および記念館を通じての一般公開を実施。また、記念館参観者への展示説明（尾崎行雄関連）を実施。
講演事業や記念事業、被災地支援等で関連団体との連携・協力（共催・後援等）を実施。

8) 会議の開催

定款に則り、2017年5月に評議員会、2018年3月に理事会を開催。

以上